

コーポレートメッセージ「わたしは、私。」2021 百貨店が売っていたのは、希望でした。

そごう・西武は、毎年企業メッセージ「わたしは、私。」を発信しています。5年目となる2021年は「百貨店が売っていたのは、希望でした。」と題するコピーを中心にメッセージを展開してまいります。

1.伝えたいこと

昨年はコロナ下でお客さまはもちろん、私たち従業員もさまざまな制約や不安を強いられた1年でした。しかしながらお客さまは、日々の生活を少しでも明るく楽しいものにするため、ご自分らしくさまざまな工夫をされ、制約のない自由な生活が戻ってくることを思い描きながら、百貨店でお買い物をされました。レシートに記載されたお買い物の記録はお客さまのそうした「希望」を象徴するものであると考え、今回私たちはレシートをメッセージに使用しました。コロナ下で制約がある中でも、自分たちの仕事を通じ、お客さまお一人お一人の希望を叶えるお手伝いをしたい。そうした私どもそごう・西武の思いを表したメッセージでもあります。



レシートは、希望のリストになった。

新型コロナウイルスで行動が制限された2020年。それでも、自由に旅行できる日のために、662人のお客さまが、スーツケースを購入された。マスクの下でもメイクを楽しみたい76,175人のお客さまが、口紅を購入された。夏祭りは中止だったけれど、浴衣は475着。颯爽と街を歩く日を待ちながら、お求めになったハイヒールは1,001足。生まれてくる命を、566セットのベビーギフトが全力で祝福した。足踏みばかりの日々であっても、一人ひとりの「私」は、今日を楽しむ工夫を続けた。お買い物の記録に教えられた、大切なこと。百貨店が売るのも、お客さまが欲しいのも、ただのモノではないということ。

百貨店が売っていたのは、希望でした。

2.発信手段・媒体

・そごう・西武全11店舗店内でのポスター掲示 ・特設サイト <https://www.sogo-seibu.jp/watashiwa-watashi/>

・1月1日(金・祝)付朝刊への全面広告掲載

新聞広告(朝日新聞、日経新聞、中國新聞、福井新聞、秋田魁新報、埼玉新聞)